



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 135

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 135. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1963, 135: 61-70

ISSUE DATE:

1963-12-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186902>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

NO135

1963.11月 (12月10日)

録 事

11月20日 笹井山植物園に建設の予定の南方熊手記念館の建設寄付金として金50,000円を贈る。

業 務 概 況

◎ 11月の入場者数

○ 水族館窓口発売

区 分	大 人	小 人	小 計	累 計
個 人	7260	375	7635	71119
団 体	14085	2080	16165	137235
合 計	21345	2455	23800	208354

○ 交通業者委託発売

区 分	大 人	小 人	小 計	累 計
曙 光 バス	38544	267	38811	314348
白井観光バス	3283	0	3283	34586
合 計	41827	267	42094	348934

○ 旅行幹旋業者委託発売

区 分	大 人	小 人	小 計	累 計
日本交通公社	3468	15	3483	25343
近畿日本ツウリスト	635	0	635	9251
日本旅行会	776	125	901	3152
南海交通社	82	0	82	640
日本通運KK	469	0	469	2410
合 計	5430	140	5570	4079

合 計	68602	2862	71464	598084
累 計	553101	8794		598084
無 料	110	231	341	3145

◎ 11月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金	2905,985	17,480,160
窓 口 発 売	1,013,200	5,956,072
明光バス観光券	1,493,002	9,544,879※
白浜急行バス観光券	176,860	948,750
日本交通公社クーポン	148,486	618,549
近鉄日本ツリストクーポン	28484	251,818
日本旅行会クーポン	33531	101,748
南海交通社クーポン	8732	39,635
日本通運KKクーポン	3690	18,709
絵はがき売上金	56,250	456,150
予 金 利 子	1,440	42,194
手 数 料	69,126	498,362
パンフレット払下	130	160
研究業績払下	—	750
魚 類 払 下	4800	32,750
雑 収 入	700	4,563
諸施設改善積立金より繰入	50,000	50,000
合 計	3,088,431	18,565,089

※ 明光バス観光券未収分 @30 158枚, @27 4068枚
 @10 0枚, @9 1枚
 @50 24072枚, @45 19258枚
 @25 250枚, @23 1枚

◎ 11月の支出

本部経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	32488	289979	
旅 費	19580	58,180	宮地会長宮谷委員桑原事務主任
会 議 費	—	70,230	
事 務 費	130,000	342,311	岩城町監事会館建設費 皇方記念会館建設費 町立
福祉厚生費	—	194,069	
社会保険料	—	6370	
積 立 金	545287	3,102,828	
合 計	727,355	4,064,667	

水族館経費

費 団	金 額	累 計	備 考
人 件 費	289,511	2,460,464	
旅 費	56,200	28,820	
單 業 費	247,756	1,937,162	
営 繕 費	—	38,794	
公 認 保 険 料	—	116,100	
諸 経 費	131,067	1,649,482	
合 計	673,954	6,230,822	

実験所経費

費 団	金 額	累 計	備 考
旅 費	40,440	134,460	山路委員、荒賀研究員
研 究 費	—	45,622	
防 戢 金	100,000	100,870	
刊 行 費	—	365,300	
役 務 費	—	609,107	
合 計	50,440	1,255,359	

臨時費

種 要	金 額	累 計
水族館巡察諸経費	50,000	50,000
海外放航補助費	50,000	50,000
合 計	100,000	100,000

支出合計

(今年度累計)

本部経費	727,355	4,064,667
水族館経費	673,954	6,230,822
実験所経費	50,440	1,255,359
臨時費	100,000	100,000
合 計	1,551,749	11,650,848

◎ 11月末現在高

前月よりの繰越	5,377,559
今月の収入合計	3,088,431
今月の支出合計	1,551,749
現 在 高	6,914,241

◎ 前年度との比較

	1963	1962	増	減
入 場 者 数	71464	69659	+	1805

水族館記事

- ◎ 7日 網不知湾内での潜水採集により、久しぶりにヒトツバナサング1、オオバナサング11が入槽した。
- ◎ 8日 昨冬の寒波以来姿を見せなかった、ベニヒモイソギンチャクとソメンヤドカリが瀬戸のイビ綱より入槽。N05水槽（ヤドカリ類）は賑かになった。
- ◎ 12日 近大養魚場よりソウシハギ2個体（60,65cm）を購入。ハマチの幼魚に混入し、養成いけすの中で成長したものということである。
- ◎ 13日 A,B,C各水槽（熱帯性魚類）にヒーターをセットした。
- ◎ 17日 網不知高橋満氏より、ユウレイイカ1個体を受贈。N019水槽に展示したが、すでに弱っていたので、翌日固定した。
- ◎ 19日 J水槽（いそうお、えび類）は、白点病対策でたびたびネグボン、硫酸銅を投入したため、春以来エビ類の収容を中止していたが、水温が下って、発病のおそれが減ったので、開放式とし、大型イセエビ30個体を展示した。
- ◎ 20日 各水槽に番号札（N0.2-35,TF1-8,T1-8,A~K）を掲げた。
同日、H水槽旧新設外式分過槽のコンクリート打ち終る（清水組）
- ◎ 23日 大坂の熱帯魚店より、ハゴアユ7個体を購入。Tα水槽を磯床替えし、これにクダタツ3、トゲヨウジ1と共に展示した。餌はアルテミアの幼生を主に与え、その後全個体元気である。
- ◎ 27日 冷凍機増設工事開始（斉藤商店）。
- 白点病は、秋になってほぼ発生が止ったかに思われたが、今月下旬に、N024水槽で大発生し、同槽のハタ類、タイ型魚類の大半を失った。卓上用4箇の水槽にも発病がみられたが薬液処置が奏効しチョウチョウウオ類若干の被害に止った。

◎ 11月の採集作業

日	時	場 所	採集方法	人員	主な 目的
4日	午 后	船揚場前	SCUBA	3	モミジガイ、スナイソギンチャク、
6日	午 后	塔島東暗礁	〃	3	スズメダイ類、サング類

日 時	場 所	採集方法	人 数	主 な 目 的
7日 午前	網不知湾内	SCUBA	2	オオバナサンゴ、ハタタテダイ
12日 午後	塔 崎 東	延 縄	2	ウ ツ ホ
24,25日 朝	瀬戸エビ網揚げ場	エビ網	2	カ ニ 類
29日 午後	取入口沖	SCUBA	3	ヨスジフエダイ

◎ 主な採集動物名 (☆印は37年4月1日以降はじめての入籍)

無脊椎動物：ユビノウトサカ スナイソギンチャク オオバナサンゴ ヒトツバナサンゴ オオイボヤキ ☆ベニオウギガニ スベスベマンジュウガニ ☆マルガザミ、ハナオトメウミウシ モミジガイ ヤツデスナヒトデ ウデナガフモヒトデ
 魚 類：ウシエイ ウツボ ヨスジフエダイ ☆コギリダイ イタチウオ コウラ
イトラギス ミツボシクロスズメ ハタタテダイ ツマジロモンガラ ヒラメ

◎ 主な購入動物名

無脊椎動物：ベニヒモイソギンチャク ソメンヤドカリ カノコイセエビ ゾウリエビ
モクズシヨイ ☆ルパガザミ ニシギリミウシ ☆ウレイイカ コウイカ ク
ロアワビ
 魚 類：ウシエイ ツバクロエイ ☆コアユ キハツソク ルリハタ ☆ダカアカ
ハタ タマガシラ ☆ナビラクマノミ (仮称) Amphiprion perideraion
 ☆シンスモドキ ☆エヤツコダイ ☆ガミチヨウチヨウウオ ☆ヒレナガハギ ソウシ
ハギ ☆テングカワハギ ハナミノカサゴ カンゾウビラメ

◎ 11月30日現在、飼育中の動物は、総計402種2950個体以上で、その内訳は次の通り。このうち観覧水槽に収容展示中の動物は368種2520個体以上。

カイメン類	4種	タ 毛 類	3種	イ カ 類	1種
ヒドロ虫類	3〃	カブトガニ類	1〃	タ コ 類	1〃
ウミトサカ類	7〃	フジツボ、カメノテ類	4〃	ウミシブ類	4〃
ヤ ド 類	7〃	エ ビ 類	15〃	ヒ ト ア類	6〃
ウミエラ類	1〃	ヤドカリ類	8〃	フモヒトデ類	4〃

イソギンチャク類	8種	カニ類	32種	ウニ類	13種
イシサンゴ類	13種	アマフラシ類	6種	ナマコ類	6種
ハナギンチャク類	1種	ニ枚貝類	8種	軟骨魚類	6種
ホウキムシ類	1種	巻貝類	27種	硬骨魚類	207種
		ヒザラガイ類	2種	カメ類	3種

資 料

⑤ 11月の気象(09時観測)

第1水槽室(水温、比重、はN024水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数: 21	9	4	8
室温 (°C)	<u>15.6 ~ 21.8</u> 18.2	<u>15.0 ~ 18.0</u> 16.7	<u>12.5 ~ 18.0</u> 15.4
水温 (°C)	<u>19.70 ~ 20.57</u> 20.84	<u>18.78 ~ 20.40</u> 19.70	<u>17.92 ~ 20.20</u> 19.07
比重 (°15)	<u>24.72 ~ 25.68</u> 25.20	<u>24.61 ~ 25.82</u> 25.22	<u>25.28 ~ 25.82</u> 25.54

新 館 (水温)

H水槽 (°C)	<u>19.6 ~ 22.3</u> 20.8	<u>18.9 ~ 20.3</u> 19.8	<u>17.9 ~ 20.5</u> 18.5
T8 水槽 (°C)	<u>21.2 ~ 23.5</u> 21.9	<u>20.1 ~ 21.4</u> 20.9	<u>18.3 ~ 21.2</u> 20.2

取 入 口

水 温 (°C)	<u>19.64 ~ 24.25</u> 21.70	<u>19.72 ~ 21.12</u> 20.28	<u>18.02 ~ 21.10</u> 19.74
比 重 (°15)	<u>24.99 ~ 25.85</u> 25.42	<u>25.26 ~ 25.85</u> 25.55	<u>25.10 ~ 25.94</u> 25.52

来 訪 録

- 11月6日 岡山県農林部水産課上田寿彦男課長補佐，全総務部財務課川淵洋課長補佐
温友調節水槽視察。
- 11月12日 日本交通公社白浜営業所長松岡氏は和可山営業に転任，後任として河村
仁氏着任本日挨拶のため来館。
- 11月15日 尾道市経済民生部坂上良彦部長外1名は魚類飼育のことで視察のため来
館。

昭和38年12月10日 (NO. 135)

編集者
発行所

宮地 佐三郎

発行所

瀬戸内海実験所振興会
和可山県 白浜町
瀬戸内海実験所内
(Tel. 白浜温泉3515)